



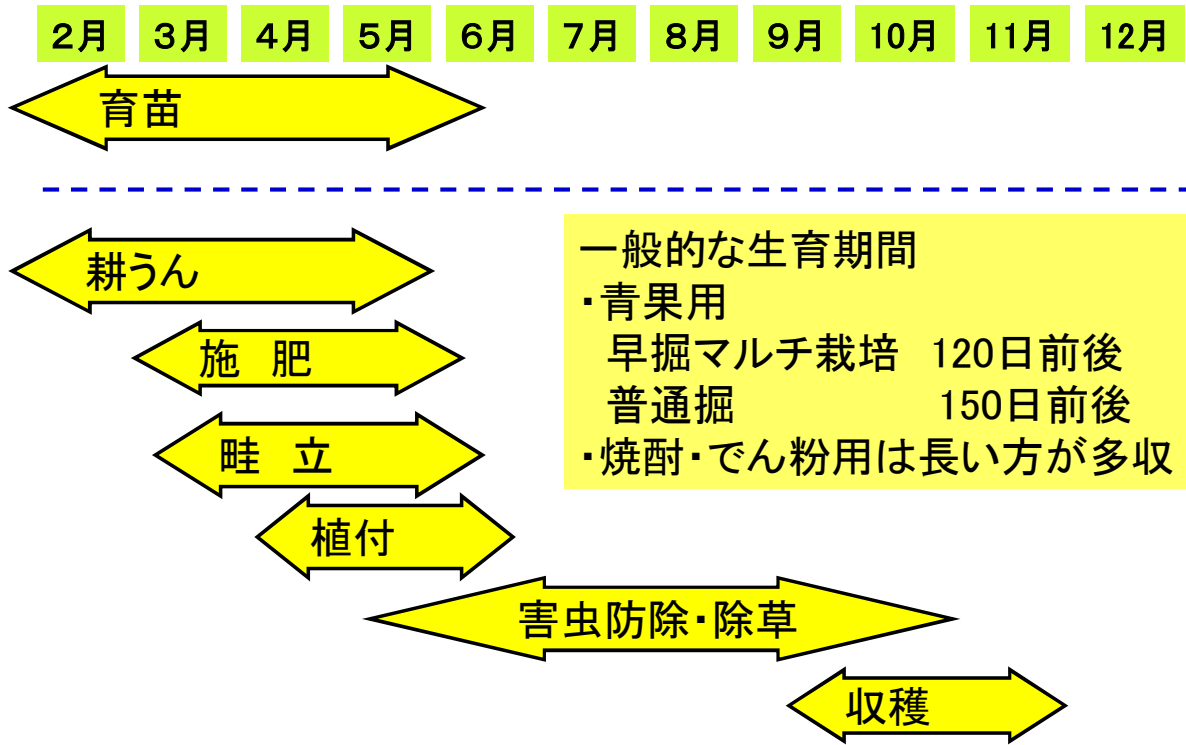
農業開発総合センター企画調整部普及情報課



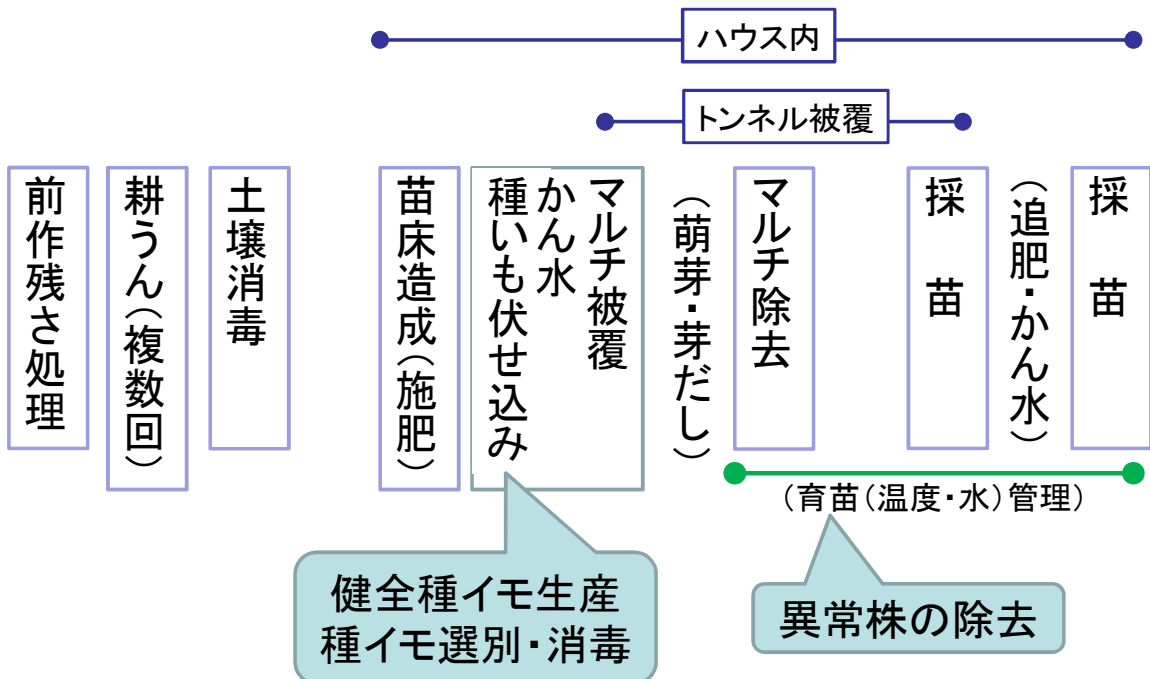
## さつまいもの栽培体系

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
超早掘 (ハウス)							収穫・出荷						植え付け	出荷：5月下旬～6月 (青果用)
超早掘 (トンネル)			植え付け					収穫・出荷						出荷：6月下旬～7月 (青果用)
早掘				植え付け					収穫・出荷					出荷：8月～9月 (焼酎用, 青果用)
普通掘・貯蔵		貯蔵・出荷			植え付け					収穫・出荷		貯蔵・出荷		出荷：9月下旬～5月 (でん粉用, 焼酎用, 青果用)

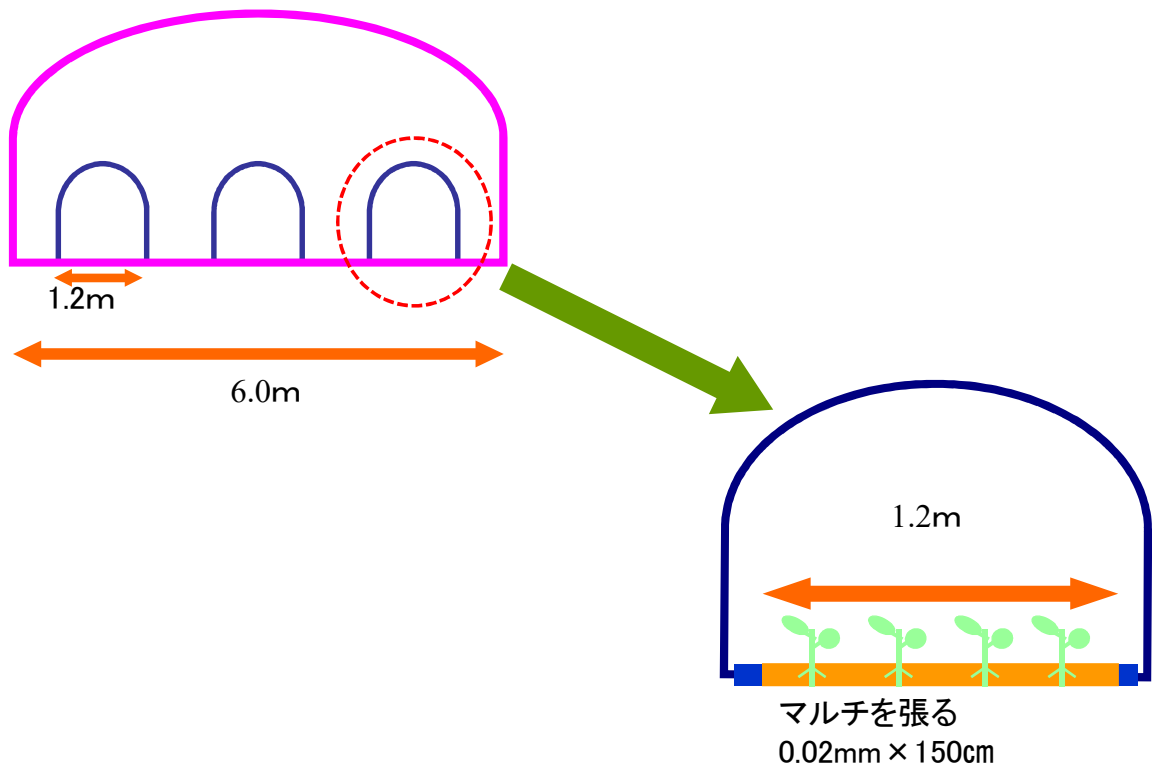
# さつまいもの作業体系



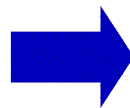
# さつまいもの育苗体系



## 育苗ハウス



## 育苗床



育苗床施肥量

m<sup>2</sup>あたり

	窒素 (g)	リン酸 (g)	加里 (g)	堆肥 (kg)
基肥	20	10	13	10
追肥	5~10	—	—	—

- 未熟堆肥は使用しない。
- 追肥は採苗後に実施。
- 葉に肥料が付着しないようによく払い落とし、十分にかん水。

## 育苗床



床造成



伏込

(頂部を揃え、覆土は種イモが隠れる程度)



かん水

(かん水後はマルチ被覆で地温確保と保水)

## 育苗(伏せ込み間隔)

品種	間隔		
シロユタカ	縦 30 cm	×	横 30 cm
ダイチノユメ	縦 20 ~ 25 cm	×	横 20 ~ 25 cm
コガネセンガン			
高系14号	縦 20 cm	×	横 20 cm
こないしん			



20cm × 20cm



30cm × 30cm

## 育苗(伏せ込み間隔)



込みすぎて苗が軟弱

茎の太いがっちりした健苗

丈夫な苗長さ: 25cm~30cm, 節数: 7~8節, 重さ: 25g以上

## 育苗(種いもとして適するもの)

- 無病である
- 重さ 200~300g
- 栽培期間が約120日程度  
(萌芽, 苗立ちに優れる)



※ 尾部の切除は乾腐病等による貯蔵腐敗の予防が見込めるので、種芋貯蔵前に行う。  
(尾部は残さない!)

## 育苗（種いも量）

品 種	採苗本数		採苗 間隔 (日)	必要種いも個数			伏込 種い も量 (㎡当 たり 個数)
	1回目 (本/株)	2回目 以降		1回 採苗 (個)	2回 採苗 (個)	3回 採苗 (個)	
シロユカ	10	5	5	300	200	150	11
ダイチノメ	7	4	7	450	300	200	16
コガネセンガン	5	3	7	600	400	300	25

必要種いも個数は10a当たり3,000本植えの場合

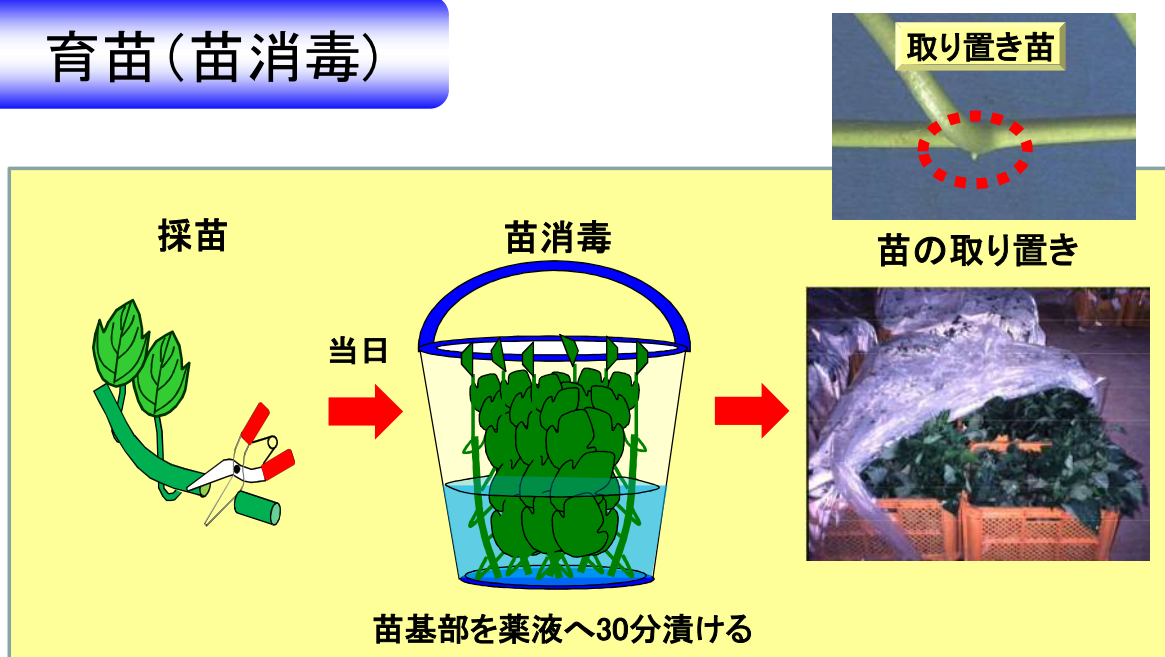
## 育苗管理

- 伏せ込み期間（種いもの伏せ込みから1回目の採苗まで）  
1～2月：60日程度      3月以降：50日程度
- 温度管理
  - 伏せ込み直後～萌芽までの床温 28～33℃
  - 萌芽後の気温 昼間 25～30℃  
夜間 15℃ ※育苗前半はやや高めに管理
- かん水  
床面が乾かない程度に、温暖な日の午前中に行う  
強圧でのかん水は、苗が倒れて曲がり苗になる
- 病虫害防除  
アブラムシ、ダニなど、防除基準に従って防除  
葉巻症や萎縮株、基腐病等病株は速やかに抜き取る
- 馴化  
植付前1週間程度は充分に換気を行い、外気にならす

## 育苗(採苗)

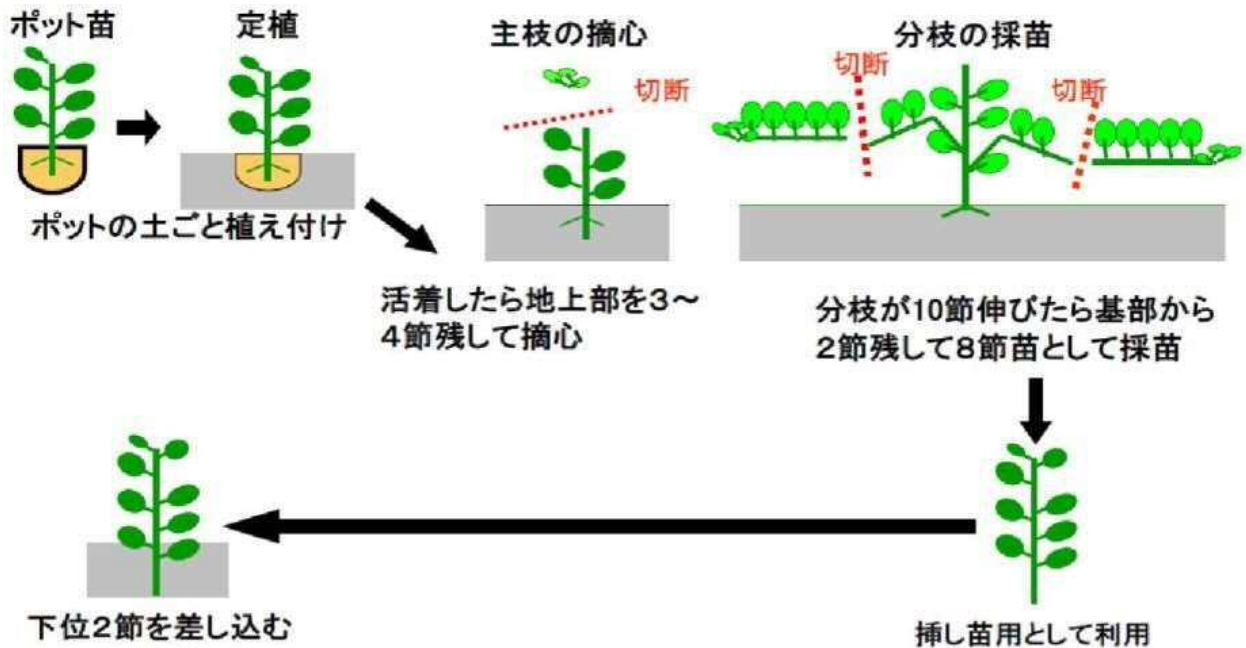


## 育苗(苗消毒)



- 苗消毒は必ず採苗当日に行い、消毒液は使用日ごとに毎回調整する
- 苗の取り置きは、苗に発根のきざしが見えた時期(3～4月:4～5日, 5～6月:2～3日)が目安・・・この頃が植付適期

## 育苗（ウイルスフリー苗）



### ウイルスフリー苗（バイオ苗）での育苗の流れ

## 育苗管理中の生育診断

- 育苗中の生育不良は、肥料不足によることは少なく、温度やかん水が不足していることが多い
- 一方、センチュウ、黒斑病や基腐病等の病害、アンモニアガスによる根の障害も見られる（種いもごと抜き取り調査）
- 病害株や異品種、異変株は早めに抜き取る

### 具体的な診断事例

- 芽が出ない
  - ① いもが腐って甘い香りがする……軟腐病
  - ② いもが硬くしっかりしている……床温度（地温）が低い、冠水いも
- 萌芽揃いが悪い
  - ① 芽立ちが悪い……床温度（地温）が低い、種いもの障害
  - ② 根が出ない……床温度（地温）が低い、かん水不足
  - ③ 芽立ちがまばら……床温度（地温）が低い、或いは不均一
  - ④ 芽の伸びが悪い……育苗温度（気温）やかん水が不足、種いもの障害



## 育苗管理中の生育診断

### 具体的な診断事例(つづき)

#### ➤ 葉の異常

- ① 小さく薄い……………低温, 種いもが小さい
- ② 展開葉より芽先がつき出て長い……………高温多湿
- ③ 葉焼け……………<白変>高温障害, <褐変>霜害(低温害)
- ④ 黄・紫色で伸びが悪い……………黒斑病, 黒あざ病, つる割病, 基腐病
- ⑤ ウイルス病  
黄色の斑紋(モザイク)や葉脈の透過……………斑紋モザイク病, 帯状粗皮病  
葉が縮れている(縮葉)……………縮葉モザイク病  
萌芽期の顕著な葉巻症状, その後殆ど消失……………葉巻病

#### ➤ 茎の異常

- ① 細くて軟らかい……………苗床が密植, 過湿で徒長
- ② 細くて硬い……………種いもが小さい, かん水不足, 肥料不足
- ③ 太くて軟らかい……………高温多湿で徒長
- ④ 基部(根元)の節間が長い……………初期高温, 過湿
- ⑤ 太くて節間が短い……………低温, 乾燥, 強日射

## 種いも貯蔵

### 1 貯蔵する環境の要点

気温 11~15℃      湿度 80~90%

### 2 貯蔵の条件

#### (1)適期収穫

- ア 生育期間は120日程度を目安に, 植付, 掘り取りを行う
- イ 温度管理ができない貯蔵庫の場合, 高温期の収穫は避ける  
(気温が15℃前後になってから)
- ウ 収穫は降霜前の晴天日  
(9~10℃で腐敗が発生, 降雨直後や雨天時を避ける)

#### (2)ていねいな収穫作業

いもへの打撲や傷を避ける(軟腐病等の腐敗菌が侵入)

#### (3)無病いもの選別

貯蔵時の周辺のいもへの病害の伝染を防止

# さつまいも種いも栽培暦



農業開発総合センター企画調整部普及情報課(R3年2月)作成